

かさましこ日本遺産推進講演会 開催について

11月27日(日) 午後1時～4時

かさましこ日本遺産活性化協議会では、地域の歴史や文化財への理解を深めるとともに、地域活性化のための意識高揚を図ることを目的に、「かさましこ日本遺産推進講演会」を開催します。



柿釉黒流掛手入甕



染付「七面焼窯場図」花生



黒釉捏鉢

■ 開催趣旨

ストーリー「かさましこ～兄弟産地が紡ぐ“焼き物語”～」で日本遺産に認定された、北関東の焼き物産地である益子町と笠間市。両地域のつながりは、18世紀に誕生した「笠間焼」、笠間焼窯元で修業し、益子に窯を築いて始まった「益子焼」によるものです。

この地域は、中世は宇都宮氏の影響下に置かれ、重臣益子氏、一族笠間氏が領主として存在したことから、政治経済において共通点を見出すことができます。

今回の講演会では、かさましこのストーリーの中で根幹となる「焼き物」に焦点をあて、茨城県内の近世地方窯の展開とその事例について学び、近世の焼き物を通じて、かさましこ地域の特色を見直す機会となります。

■ かさましこ日本遺産推進講演会

日時 11月27日(日) 午後1時～4時

場所 笠間公民館 大ホール(笠間市石井2068-1)

内容 ○ あいさつ

かさましこ日本遺産活性化協議会 会長 山口 伸樹 (笠間市長)

○ 講演

演題 華麗なる江戸時代のやきもの～古伊万里・京焼・茶陶～

講師 学習院大学 文学部 哲学科 教授 荒川 正明 氏

○ 事例報告

(1) 演題 笠間焼

発表者 茨城県教育財団 調査員 吹野 富美夫 氏

(2) 演題 七面焼(七面製陶所)

発表者 水戸市教育委員会 歴史文化財課 課長補佐 関口 慶久 氏

(3) 演題 松岡焼(高萩)

講師 茨城県考古学協会 会長 瓦吹 堅 氏

この件に関するお問い合わせ

笠間市教育委員会 生涯学習課 担当:竹江、額賀

電話番号:0296-77-1101 (内線381) ファックス番号:0296-71-3220 e-mail:gakushu@city.kasama.lg.jp